

令和8年台風25号の被害を受けた農家の皆様へ

台風25号被災対策の支援事業が発動された場合に備え、次の書類の保管をお願いします。※¹

- ① 施設等の被害の状況が分かる写真や書きものなど※²
- ② 復旧の取組に係る発注書、納品書、請求書などの書類※³

※¹ 農地利用効率化等支援事業（被災農業者支援タイプ）を想定しています。

支援事業が発動されることを確約、保証するものではありません。

支援事業が発動された際には、追加で所定の書類の提出が必要となります。

※² 被害状況が分かる書類が無い場合、支援事業の対象とならないことがあります。

※³ 復旧に係る取組のすべてが対象となることを確約、保証するものではありません。

○ 片付けの前に被害状況が分かる写真を撮っておきましょう。

※写真撮影は周囲の安全を確認してから行うようにしてください。

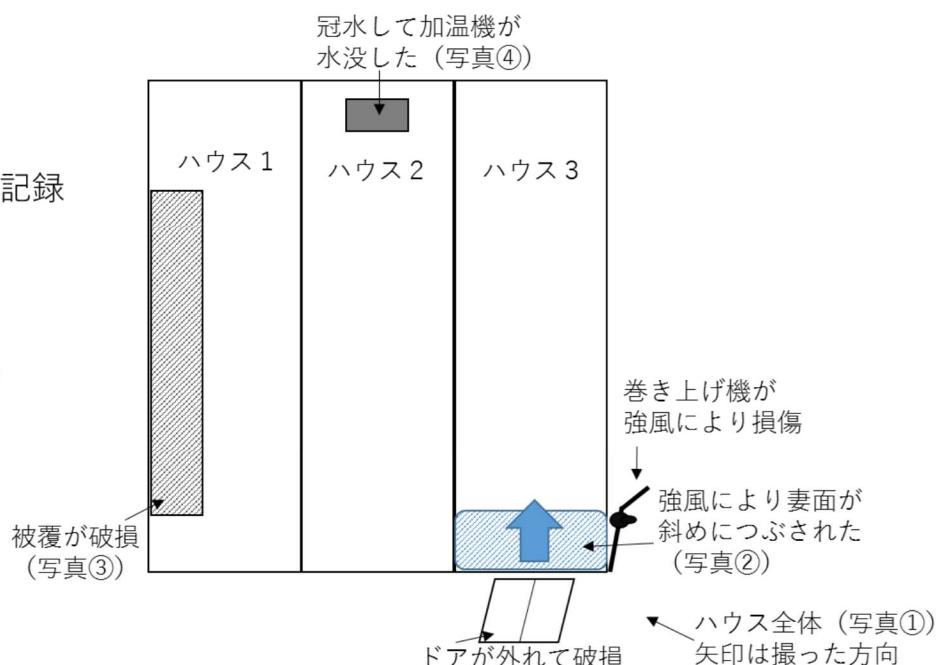
- ☐ 写真に撮影日を入れる。
- ☐ 施設等の「全体」と「被災した箇所」を撮影する。
- ☐ 被災した付属品や施設内部の設備も撮影する。
 - ・農業用施設（ハウス、農業用倉庫、畜舎など）の撮影例
施設の外観全体、被害部分（屋根や壁、被覆資材の破損、骨材の曲がり、付属品の損傷（遮光ネット、防風ネット、巻き上げ機など）
 - ・農業用機械（施設の内部設備を含む）の撮影例
機械の全体、水没の跡（水位が分かるように）、被害部分、メーカー名、型番、機械の保管状況（保管場所、保管庫の被災状況など）
- ☐ 営農利用であることが分かるように施設の内部を撮影する。
機械格納庫や資材庫などであれば、農業用機械や資材を保管しているところを撮影してください。
営農利用が確認できない場合は対象外となります。
- ☐ 後で確認する時に、「どの写真」が「どの施設」や「どの機械」か分かるように写真に番号等をつけておきましょう。

○ 片付けの前に被害状況が分かる書きものを残しておきましょう。

- 写真のみでは被害状況が分かりにくい場合がありますので、被害状況を図面として書き起こし、具体的にメモしておきましょう。
- 図面等に写真の番号をメモしておく、第三者へ被害状況を説明しやすくなります。（以下のメモ例を参考としてください。）

【写真の補足メモ（例）】

- ・ 記録日、記録者
20××年×月××日、本人記録
（台風通過後の日付）
- ・ 所在地
〇〇市〇〇123-4
- ・ 施設の概要
パイプハウス3連棟、270㎡
間口4.5m×奥行き20m
- ・ 設置年 2010年
- ・ 園芸施設共済への加入有



○ 復旧に係る発注書、請求書などの書類を残しておきましょう。

- 被災した施設や機械を買った当時の設計書や領収書等の書類を捨てずに保管しておきましょう。（現状復旧するために必要な費用の算出の際に使用します。）
- 被災後に業者へ工事を発注した場合は、見積書、契約書、工事内容が分かる明細書
- 被災後に自力施工するために資材を調達した場合は、領収書、資材の内訳が分かる明細書
- 調達した資材について、「いつ」、「どの資材」を「どの施設」の復旧に使用したか分かるように作業日誌等の記録を残しておきましょう。

○ お問い合わせ先

問い合わせ先	電話番号
富津市役所 農林水産課 農政係	0439-80-1282